

太陽黒点観測報告

2017年2月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は高気圧は移動性となり、気圧の谷の通過時には強風が吹くなど荒れた天気になったが、天候の回復は早く欠測日数は二日間だけで継続した観測が出来た。前半は寒気も厳しかったが、下旬になるとだいぶ暖かい日もあり背中に感じる日差しが暖かかった。空は冬の青さが無くなって行き、朝晩は雲の出ることが多くなってきた。黒点活動は引き続き低調で、南半球の活動が弱く無黒点状態である。北半球は時々発生する中型群があり相対数を押し上げるが、発達するものは少なくすぐに衰退してしまう。相対数的には先月を下回っている。今期は主に2187周期の観測だった。私の所では、北半球に9群、南半球に2群の新しい黒点群を観測した。

2) 日別観測日記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相(/5), 肉眼黒点群, 天候. Rows include dates from 01 to 28 and summary rows for total counts and ratios.

合計 36 163 4 9 40 172 11 74 572 184 -- (-/0日)
相対数(10g+f) 523 49 572 184
日平均相対数 20.1 1.9 22.0 7.1
相対数活動比 91.4% 8.6% 32.2%
相対数前月比 -19.9% +34.6% -17.0% -46.6%
日平均相対数修正値(k=0.6) 12.1 1.1 13.2 4.2

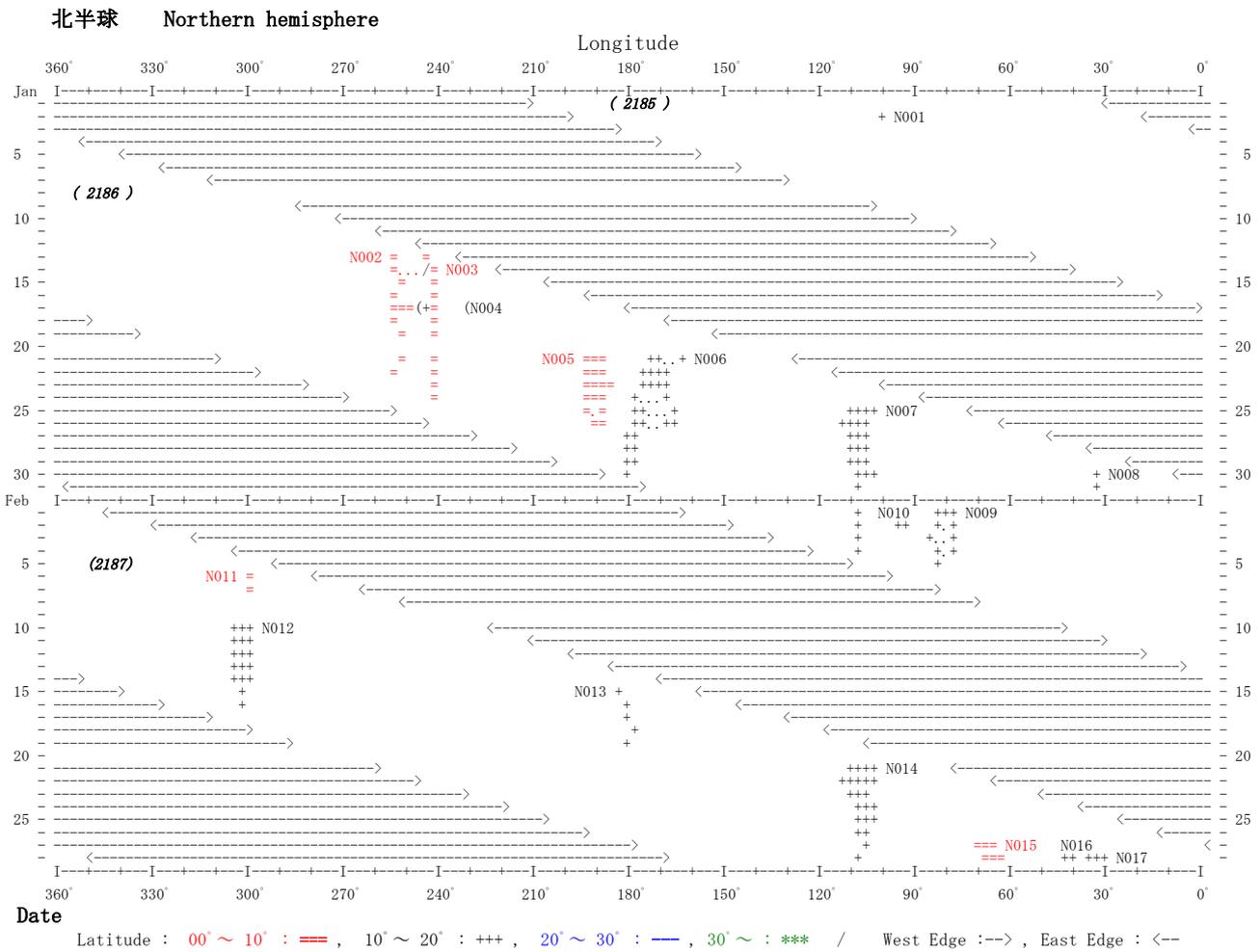
観測日数 26日
観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉町 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')
使用機器 : 8cm屈折望遠鏡 (f= 910mm) 51倍 15cm投影、73倍・100倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

3) 黒点群活動表

北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面		観測期間			活動状況	
		緯度 Lati.	経度 Longi.	初日 F. Obs.	中央通過 C. M. P	末日 L. Obs.	Before C. M. Passage	:CMP: After C. M. Passage
2186	12629 N17007	N13-16	106-114	Jan 25	29	Feb 04	eo D9 D14D10D10:D6	:C3 J3 J1 J2 J1 A1 wd
2186	12632 N17009	N14-15	080-088	Feb 01	—	05		wco J5 D6 C3 b2 a1 w1
2186	12633 N17010	N14-15	096-098	02	—	02		wo A3 w1
2187	12634 N17011	N03	299-301	06	—	07	eo A1 A1 e1	
2187	12635 N17012	N11-13	300-306	10	11	16	eco? - D12:D15:D14D6	D6 J3 A1 w1
2187	12636 N17013	N10-12	181-184	15	—	19	eo A2 A2 A1 A1 A1 -	c1?
2187	12638 N17014	N15-20	106-115	21	26	Mar 03	ea? - D9 C10C7 J5 J3 :J2 :J1 J1 J1 -	J1 w1
2187	12640 N17015	N07-10	066-073	27	28	Mar 03	eco C7 :B11:A2 -	A5 w1
2187	12642 N17016	N13-15	041-047	28	Mar 02	03	eo A4 C5 :- :B7	wc1
2187	12641 N17017	N13-15	033-039	28	—	03	eo C12C10- :B16:	c1

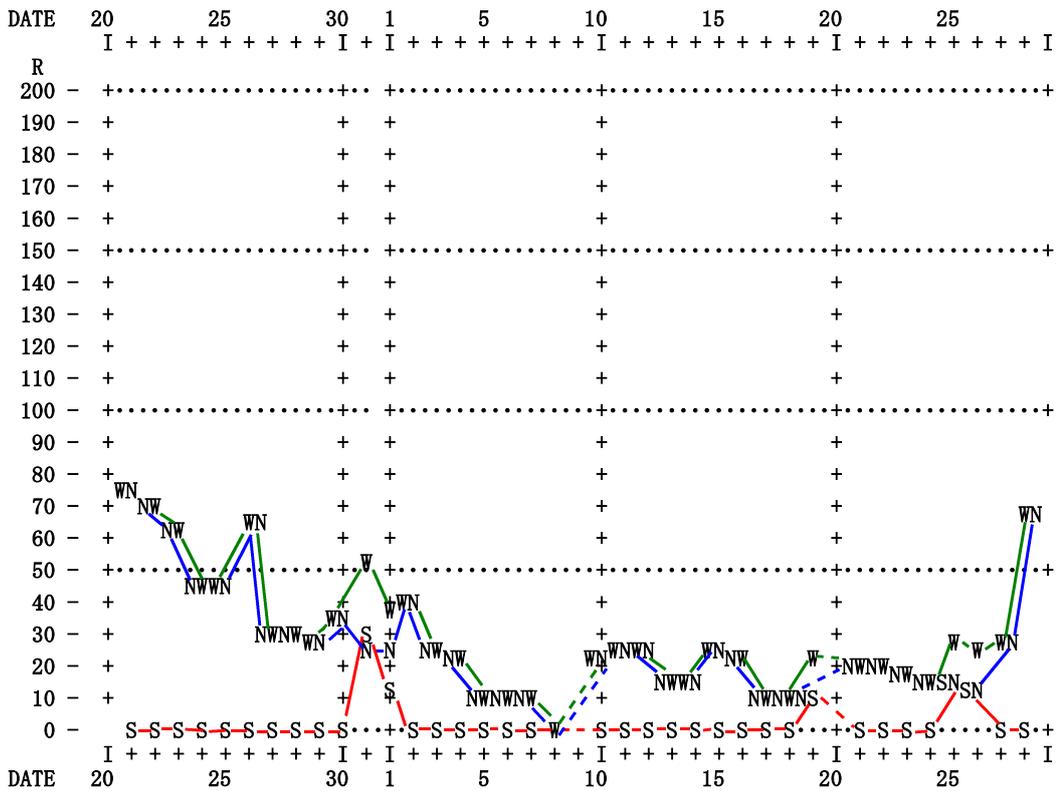
Sunspot Drift-Chart January 2017 ~ February 2017



4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0) W:全面 N:北半球 S:南半球

2017 February



5) 前年からの月別相対数変化図

平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2016 August までの値が今月までの観測を反映している。

